福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.12

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。
「復興と廃炉の両立」に向けて、廃炉を安全かつ着実に進めてまいります。

ALPS処理水の海洋放出にあたっての安全性確保①「設備・運用の全体像」

放出する水の安全性を確保します

当社は、政府の基本方針を踏まえて、安全確保のためのALPS処理水希釈放水設備等の設計や運用等の具体的な検討を進めてきました。

2022年7月に原子力規制委員会の実施計画変更認可をうけ、同年8月から、安全を最優先に設備等の工事を進めています。

また、客観性、透明性の確保の観点から、国際原子力機関（IAEA）の調査団や国際専門家の安全性確認を継続して受けております。

放出する水の安全性確保に向けた設備・運用について、シリーズでお伝えします。

海洋放出までの流れ

【ALPS処理水になるまで浄化】（右図①）

放射性物質が規制基準を満たしていない「処理途上水」は、ALPS等で**再浄化し、「ALPS処理水（トリチウム以外は規制基準を満たした水）」にします。**

【放射性物質の測定・確認】（右図②）

放出対象のALPS処理水について放射性物質の測定・確認を行います。**測定は、当社に加え、当社が委託する外部機関も実施し、結果は速やかに公表します。**

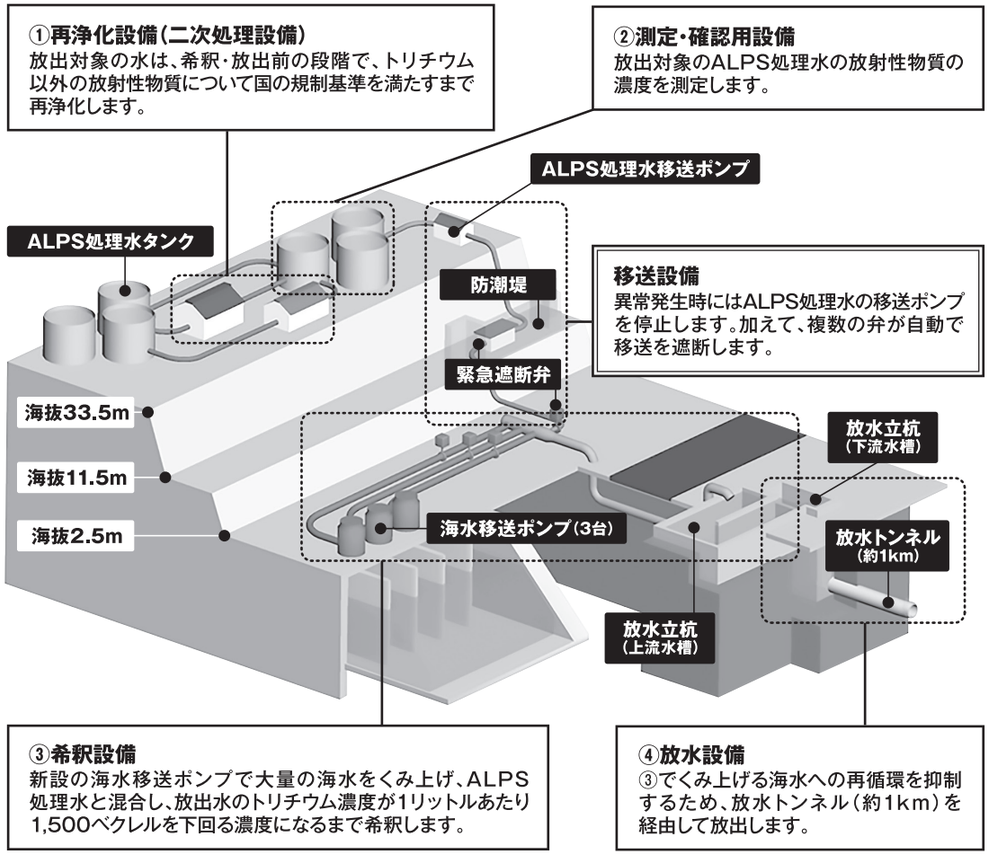
【トリチウムも規制基準を満たす】（右図③）

トリチウムは、**規制基準（1リットルあたり6万ベクレル※）の40分の1未満の濃度になるまで大量の海水で希釈**し、放出する水の安全性を確保します。

【海洋放出】（右図④）

海洋放出するトリチウムの量は、事故前（運転中）の放出管理目標値と同じ**「1年あたり22兆ベクレル未満」で管理します。**

※ベクレルは放射性物質がどのくらい放射線を出す能力があるかを表す単位



ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください
▶[処理水ポータルサイト]
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/

浄化のしくみについてはこちらをご覧ください
▶[Vol.04 ALPSの浄化のしくみ]
https://www.tepco.co.jp/decommission/effort/index-j.html

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html

TEPCO
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22